



【教育目標】 自らの可能性を信じ、努力することのできる生徒を育成する。
【一学校一改善】 ルールメイキング (継続) 先手あいさつ 一人一入賞

挑戦 ～ あなたならやれる～

まず「こんな人生を歩みたい」「将来こんな人生を歩みたい」「会社をこのように成長させたい」という願望をもつことが必要です。あらゆる艱難辛苦（かんなんしんく）にも挫けず、岩をも通すような一念でやり遂げて見せる。そのような、強く気高い思いを抱くことが、成功の源です。

自分の可能性を信じ、実現していくことだけを強く思いながら、ひたすら努力を続けていけば、いかなる困難がやってきても、思いは必ず実現します。

人間の思いは、私たちの想像を超えた、凄まじいパワーを秘めています。

これは、鹿児島大学卒業後、現・京セラ、現・KDDIを設立した日本の実業家、稲盛和夫氏の著書「考え方」に記されている内容です。

願望

自分の可能性をひたすら信じ
実現することのみを強く思いながら
努力を続ければ
いかなる困難があっても
思いは必ず実現します

稲盛和夫

また、幕末の教育者であり、思想家の吉田松陰は、門下生たちに向けて様々な言葉を残しています。これらの言葉は、現代に生きる私たちにも大切なことを語りかけてくれています。その言葉の一つを右に紹介します。

自分は将来どうなりたいのか、何を成し遂げたいのか、これらの言葉を基に考えてみましょう。

夢の扉は自分でたたくもの

夢の扉は自分で開くもの

特に、3年生は私立高校の入学試験も始まり、人生の壁を乗り越える時が近づいています。仲間と励まし合い、学びの構えを活かして、壁を乗り越えてください。1・2年生は、立志という節目の時期に、自分だけの夢へのチャレンジの計画書、将来の地図を思い描いてみてください。

夢なき者に理想なし
理想なき者に計画なし
計画なき者に実行なし
実行なき者に成功なし
ゆえに 夢なき者に成功なし

吉田松陰

まだまだ、寒い日が続きます。生徒一人一人が健康に留意し、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザへの対策を十分に行いながら、「考えて自主的に動く」「自主的に動いて、振り返って考える」、すなわち「考動」を肝に銘じて、新年度の準備の学期である3学期を充実した学期にしてください。

志を立ててもって万事の源とす (吉田松陰)

志を立てることが、すべての源となるということです。

今後とも保護者の皆様方の本校の教育実践へのご理解とご協力をよろしく願います。